

第2回伊勢市観光振興基本計画推進委員会 資料③について

基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方

令和7(2025)年9月12日(金)

1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

- 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標案の検討プロセスは以下の通り。



第1回推進委員会にて整理済

● 新計画策定において重要な視点

持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大	観光の価値を高める旅行の推進	デジタル技術の活用や観光のICT化	観光を起点に町のファン(関係人口)を増やす	交通の利便性の向上・交通手段の拡充
インバウンド誘客の拡大	住民と観光客の双方にとってwin-winな観光地経営	神宮式年遷宮関連行事の開始	宿泊割合の向上	観光危機管理の推進

● クロスSWOTの結果を踏まえた方向性

3つのポイント

- ① 地域ブランドをさらに磨き上げ、新旧ファンの維持・獲得
- ② 本物本質が体験できる観光の価値を高めるコンテンツ造成・提供
- ③ 受入体制整備による安心・安全な観光地運営

1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)



● 第1回推進委員会での意見の確認(主な意見抜粋)

- ✓ 三重県下の宿泊者数はコロナ禍より増えたがインバウンドの回復率は最下位。神宮外国人参拝者数は増加傾向というインバウンドの現状把握について意見を伺いたい。(前田委員) →インバウンド誘客拡大
- ✓ 一部の宿泊施設からの情報だが伊勢志摩全体では徐々にインバウンド宿泊者数は伸びてきている(川上委員) →インバウンド誘客拡大
- ✓ 神宮参拝に関して、推奨度の高さは神宮文化への理解度によって異なるとみており、事前情報不足に対応が必要(川上委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大、観光の価値を高める旅行の推進
- ✓ 第63回神宮式年遷宮がスタートしていく中で、今回の資料は「式年遷宮」というキーワードが少ないことに違和感を感じる(山本副委員長) →神宮式年遷宮関連行事の開始
- ✓ 遷宮を契機とした観光振興については策定方針のポイントにある通り、基本方針、基本理念、具体的方針でもベースになっていくと理解しており、素案の中でも留意頂きたい(板井委員長) →神宮式年遷宮関連行事の開始
- ✓ 現状分析の中で食文化の発信が書かれてあるが、今後の姿勢を教えてください(山本副委員長) →観光の価値を高める旅行の推進
- ✓ 持続可能な観光のため地域文化と観光文化をどうつなげていくか。新計画策定の際に観点に入れていただきたい(高橋委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大
- ✓ まち中をどう回遊しているかがわかれば伊勢市全体の魅力を上げる、活性化させるヒントになる。本物の良さがわかる人を呼ぶことに繋げたい(高橋委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大
- ✓ インバウンド増加傾向は間違いなく、肌感としてもある。人流パターンを把握し施策に繋げていけると良い(山本副委員長) →インバウンド誘客拡大
- ✓ 今のニーズにあった新しい計画策定を目指したい(前田委員) →観光の価値を高める旅行の推進、デジタル技術の活用や観光のICT化
- ✓ 年齢別でも行動パターンが異なると思うので見直しが必要ではないか(前田委員) →観光の価値を高める旅行の推進
- ✓ 観光地の防災危機管理・発信の仕方も先進的に取り組んでいきたい(前田委員) →観光危機管理の推進
- ✓ 観光都市としてまちづくりの視点が大事ではないか。伊勢市だけで考えると観光動機が見え難い可能性もあり、伊勢志摩周辺自治体との連携も盛り込んだ方が良いと考える(今北委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大、交通利便性の向上・交通手段拡充、住民と観光客の双方にとってwin-winな観光地経営、宿泊割合の向上

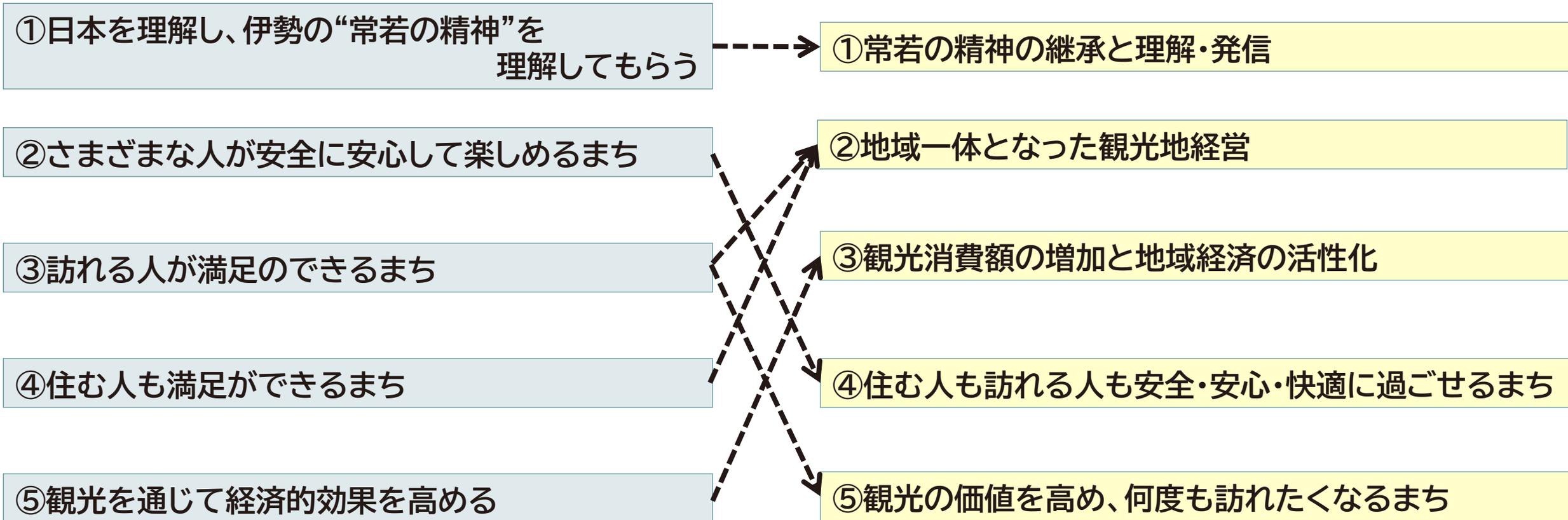
1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

- 「新計画策定において重要な視点」、「クロスSWOTの結果を踏まえた方向性」、「第1回推進委員会での委員の意見」を踏まえ、**基本理念**、ありたい姿、基本方針の方向性を以下の通り提示する。

■ 基本理念案

<現状の基本理念>

<新たな基本理念案>



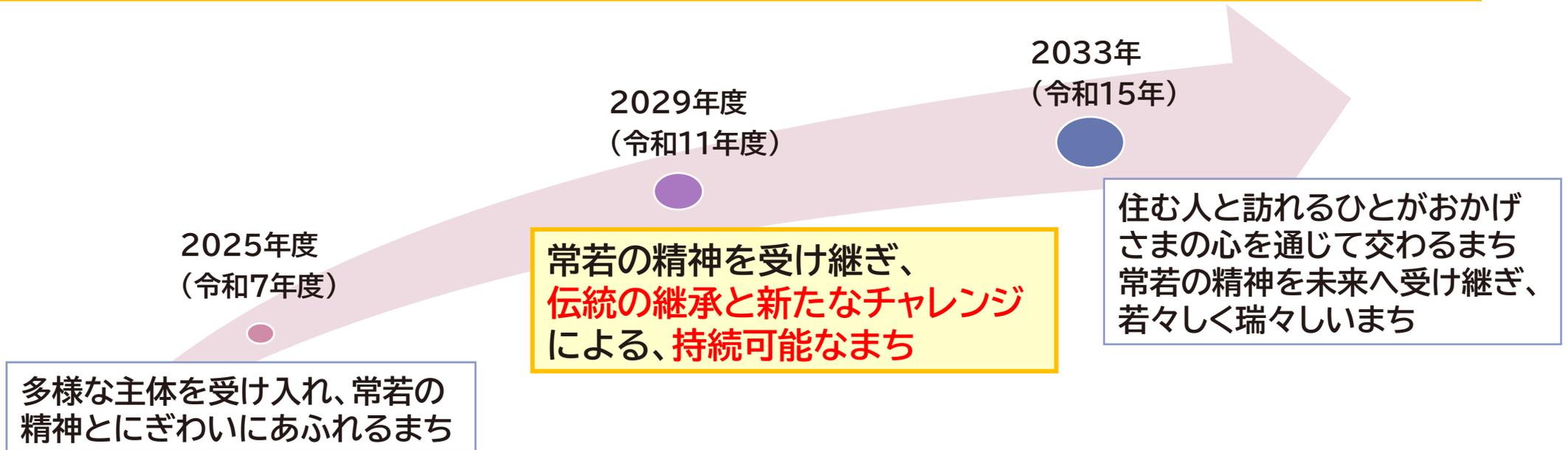
1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

- 「新計画策定において重要な視点」、「クロスSWOTの結果を踏まえた方向性」、「第1回推進委員会での委員の意見」を踏まえ、基本理念、**ありたい姿**、基本方針の方向性を以下の通り提示する。

■ ありたい姿案

- 2033年(令和15年)のありたい姿の実現に向け、本計画の期間である4年後(2029年度:令和11年度)のありたい姿の案を、以下のように提示する。

常若の精神を受け継ぎ、
伝統の継承と新たなチャレンジによる、持続可能なまち



1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

■ KGI指標案について

- 2029年度(令和11年度)のありたい姿案の実現に向けたKGI指標案を以下の通り提示する。

常若の精神を受け継ぎ、
伝統の継承と新たなチャレンジによる、持続可能なまち

①観光客総合満足度

- 基本理念②にもあるように、伊勢市が持続可能なまちとなる上では、「地域一体となった観光地経営」を推進していくことが必要であり、同時に、伊勢市全体を観光客に満足いただくことが重要である。
- そのため、新たなKGI指標の1つに、観光客総合満足度を採用していく。

②観光消費額

- 伊勢市内の事業者が新たなチャレンジを積極的に進め、来訪者に受け入れてもらうことが必要であり、それを検証する指標として、観光消費額を採用していく。
- 観光実態調査において国内の観光消費額を調査しており、国内の消費額と高め、ゆくゆくはインバウンドに波及させていく。

③市内宿泊者数

- 持続可能なまちづくりを進めていく上で、伊勢市においては宿泊割合を高め、市内消費を促進するため、市内宿泊者数を継続して採用していく。
- インバウンドの宿泊者数の把握ができることに加え、宿泊が増え立ち寄りスポットが多くなることで市内の産業振興にもつなげていく。

1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)



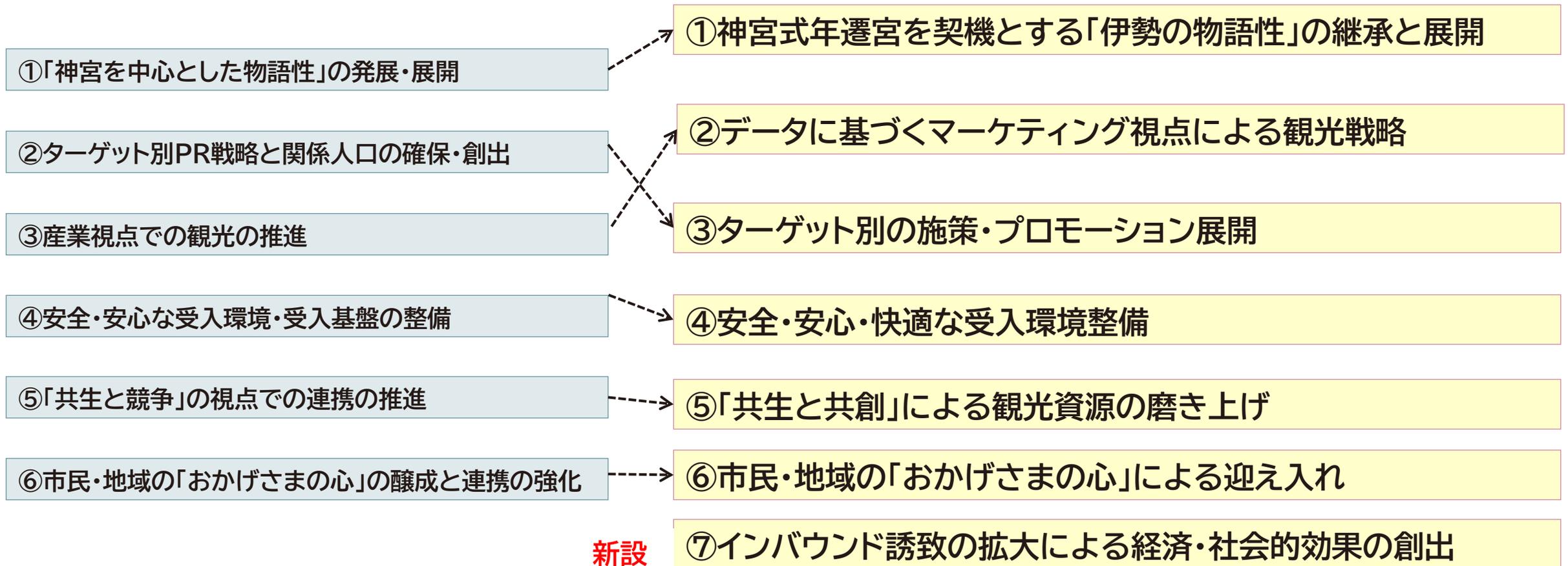
- 「新計画策定において重要な視点」、「クロスSWOTの結果を踏まえた方向性」、「第1回推進委員会での委員の意見」を踏まえ、基本理念、ありたい姿、**基本方針**の方向性を以下の通り提示する。

■ 基本方針案

- 本計画で定める「ありたい姿(2029年度:令和11年度)」を実現するために、以下の7つの基本方針案を定める。

<現状の基本方針>

<新たな基本方針案>



1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

● 第1回推進委員会での意見(主な意見抜粋)の基本方針との対応状況

- ✓ 三重県下の宿泊者数はコロナ禍より増えたがインバウンドの回復率は最下位。神宮外国人参拝者数は増加傾向というインバウンドの現状把握について意見を伺いたい。(前田委員) →インバウンド誘客拡大 **基本方針⑦**
- ✓ 一部の宿泊施設からの情報だが伊勢志摩全体では徐々にインバウンド宿泊者数は伸びてきている(川上委員) →インバウンド誘客拡大 **基本方針⑦**
- ✓ 神宮参拝に関して、推奨度の高さは神宮文化への理解度によって異なるとみており、事前情報不足に対応が必要(川上委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大、観光の価値を高める旅行の推進 **基本方針③** **基本方針②、⑤、⑥**
- ✓ 第63回神宮式年遷宮がスタートしていく中で、今回の資料は「式年遷宮」というキーワードが少ないことに違和感を感じる(山本副委員長) →神宮式年遷宮関連行事の開始 **基本方針①**
- ✓ 遷宮を契機とした観光振興については策定方針のポイントにある通り、基本方針、基本理念、具体的方針でもベースになっていくと理解しており、素案の中でも留意頂きたい(板井委員長) →神宮式年遷宮関連行事の開始 **基本方針①**
- ✓ 現状分析の中で食文化の発信が書かれてあるが、今後の姿勢を教えてください(山本副委員長) →観光の価値を高める旅行の推進 **基本方針③、⑤、⑥**
- ✓ 持続可能な観光のため地域文化と観光文化をどうつなげていくか。新計画策定の際に観点に入れていただきたい(高橋委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大 **基本方針①、③、⑤、⑥**
- ✓ まち中をどう回遊しているかがわかれば伊勢市全体の魅力を上げる、活性化させるヒントになる。本物の良さがわかる人を呼ぶことに繋がりたい(高橋委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大 **基本方針②**
- ✓ インバウンド増加傾向は間違いなく、肌感としてもある。人流パターンを把握し施策に繋げていけると良い(山本副委員長) →インバウンド誘客拡大 **基本方針⑦**
- ✓ 今のニーズにあった新しい計画策定を目指したい(前田委員) →観光の価値を高める旅行の推進、デジタル技術の活用や観光のICT化 **基本方針②、⑤、⑥** **基本方針④**
- ✓ 年齢別でも行動パターンが異なると思うので見直しが必要ではないか(前田委員) →観光の価値を高める旅行の推進 **基本方針②**
- ✓ 観光地の防災危機管理・発信の仕方も先進的に取り組んでいきたい(前田委員) →観光危機管理の推進 **基本方針④**
- ✓ 観光都市としてまちづくりの視点が大事ではないか。伊勢市だけで考えると観光動機が見え難い可能性もあり、伊勢志摩周辺自治体との連携も盛り込んだ方が良いと考える(今北委員)
→持続的な観光地経営等の本物・本質志向の拡大、交通利便性の向上・交通手段拡充、住民と観光客の双方にとってwin-winな観光地経営、宿泊割合の向上 **基本方針③** **基本方針④** **基本方針⑥** **基本方針②、④、⑦**

1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

- **KPI指標案**については、①基本方針案と具体的方針案決定後に、基本方針に紐づく形で設定する。

■ KPI指標案の設定

<新たな基本方針案>

①神宮式年遷宮を契機とする「伊勢の物語性」の継承と展開

②データに基づくマーケティング視点による観光戦略

③ターゲット別の施策・プロモーション展開

④安全・安心・快適な受入環境整備

⑤「共生と共創」による観光資源の磨き上げ

⑥市民・地域の「おかげさまの心」による迎え入れ

⑦インバウンド誘致の拡大による経済・社会的効果の創出



基本方針①～⑦に
対応する具体的方針



KPI指標は
基本方針に紐づく

1 基本理念、ありたい姿、基本方針、KPI指標の考え方(資料③)

■ KPI指標案の一例

- KPI指標は定量的なデータにより把握することが重要であり、データは継続的に取得することが必要である。
- 伊勢市観光統計、伊勢市観光客実態調査等のデータをもとに、KPI指標案を設定していく。

<新たな基本方針案>

<KPI指標 一例>

①神宮式年遷宮を契機とする「伊勢の物語性」の継承と展開

--> ・神宮参拝者数(観光統計)
・神宮式年遷宮、および諸行事の認知度(実態調査)

②データに基づくマーケティング視点による観光戦略

--> ・一人当たり観光消費額(日帰り、宿泊)(実態調査)
・観光消費額(日帰り、宿泊)(実態調査)

③ターゲット別の施策・プロモーション展開

--> ・伊勢市観光協会ホームページアクセス数(観光統計)

④安全・安心・快適な受入環境整備

--> ・移動・交通の満足度(実態調査)
・伊勢市神宮車椅子利用参拝者数(観光統計)

⑤「共生と共創」による観光資源の磨き上げ

--> ・伊勢市の再訪意向率(実態調査)
・伊勢志摩地域全体の再訪意向率(三重県観光客実態調査)

⑥市民・地域の「おかげさまの心」による迎え入れ

--> ・おもてなしの満足度(実態調査)

⑦インバウンド誘致の拡大による経済・社会的効果の創出

--> ・インバウンド入込客数(国籍別)(モバイル空間統計)
・インバウンド宿泊者数(宿泊施設アンケート)



感動のそばに、いつも。